



**TOKYO DENTAL COLLEGE  
ALUMNI ASSOCIATION**

# *TDC Academia*

## *2023*



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

日本歯科医師会生涯研修認定

## ご挨拶



同窓会会長 澁谷 國男

2016年に同窓会120周年を記念し発足された「TDCアカデミア」は、今年度で8年目を迎えました。適切な学術情報を提供すべく、若手からベテランの先生方に至るまで、幅広いニーズにお応えする様、企画運営を心掛けてまいりました。

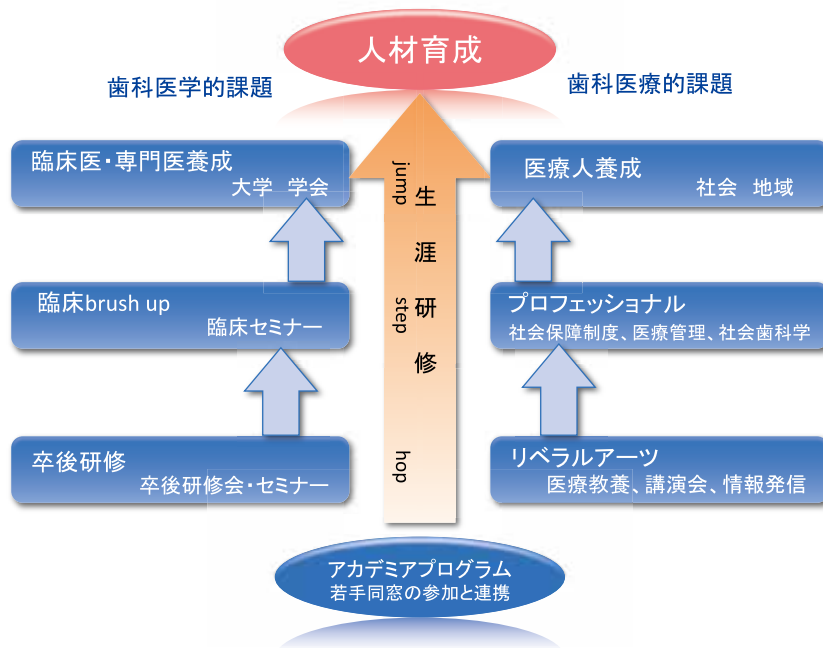
しかしながらこの3年間、厳しい社会情勢を受けて同窓会らしいセミナー開催が行えない状況が続いております。また、コロナ渦にご卒業された先生方が、学生時代に十分な臨床実習を受けることが難しかったとお聞きしております。

そこで、本年度のプログラムでは、実習型セミナーを若手中心のハンズオンセミナー1本に絞り、他の講演型セミナーについてはWeb配信を併用したハイブリッド型の開催といたしました。そして、臨床の幅を広げることに有効な「卒後研修」勉強会は、平日20時開始に統一しましたので、若い先生方、全国の地方の先生方、更には海外の先生方にも積極的にご参加いただければと思います。

また、本年度の「医療教養フォーラム」では、17個のSDGs到達目標の1つである「すべての人に健康と福祉を」を紐解き、健康格差について歯科医師がどう取り組むべきかを、皆様と共に考えていきたいと思っております。

先の見えない社会情勢ではございますが、「TDCアカデミア」は、「水道橋の校舎に集い、共に学び合う」という、同窓会の本来の在り方は大切にしていきたいと考えます。年に数回、日進月歩の歯科医学や臨床技術を感じることは、必ずや皆様の日々の診療に反映されることでしょう。多くの先生方にご参加いただけることを切に希望しております。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

## 卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、  
一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

### 症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。



**参加無料** 参加ご希望の方は [sotsuken@tdc-alumni.jp](mailto:sotsuken@tdc-alumni.jp) まで

#### TDC 卒後研修倶楽部

奇数月第4木曜日 20:00～

症例相談や経過報告などの発表を中心に皆でディスカッションしていく勉強会です。なぜこの患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

#### 卒研症例検討会

偶数月第4木曜日 20:00～

若手歯科医師向けの研修会です。経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

#### デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 20:00～

診療に必要な資料(レントゲンや口腔内写真など)や情報の収集や選別の仕方など基礎的なことを中心にすすめている勉強会です。症例を通して、「何が足りなかったか」「他にどんな情報があると有利か」などを意見交換しながらスキルアップを図っております。今まで勉強会に参加したことのない方でも参加しやすい内容となっております。

# 実際どんなことをしているの？

TDC 研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒研症例検討会

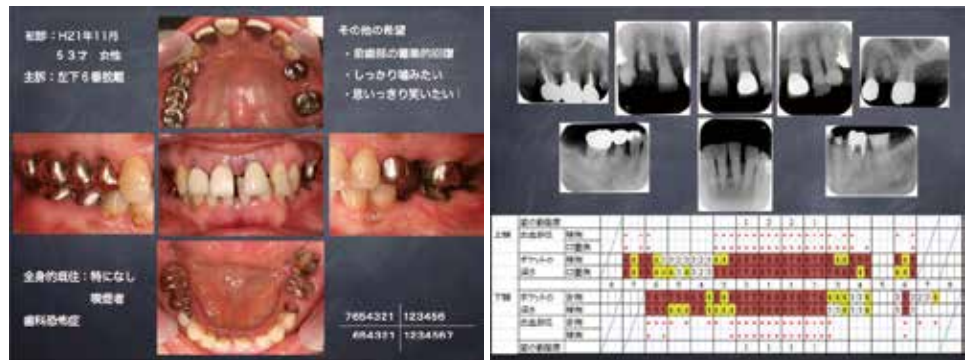
その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることはないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとても大切なツールと考えます。あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

## — 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

### 症例1 ~どのようにゴールまで導きますか~

- ・必要な情報は
- ・根拠のある診断とは
- ・治療方針はどのように立案しますか
- ・実際の治療方法は
- ・どのような経過を予測できますか
- ・そして経過は  
などなど…



### 症例2

#### ~デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか~

- ・デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- ・撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



## Web 勉強会を開催しています

新型コロナウイルス感染拡大を受け、TDCアカデミア卒業研修ではWebでの勉強会を開催しています。普通の勉強会と同じようにスライドおよび音声で発表を行い、質問もできます。

遠方の先生も多数参加していますので、お気軽にご参加ください。

参加をご希望の方は [sotsuken@tdc-alumni.jp](mailto:sotsuken@tdc-alumni.jp) もしくは同窓会事務局までご連絡ください。

Web配信を受け取れる環境でのパソコンもしくはスマートフォン、タブレット等からメールを送って頂き、開催日当日にWeb勉強会に参加できるID・パスワード情報を送らせて頂きます。



## 事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

# 口腔機能セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー  
聴講型

## 「健全な口腔機能を獲得し維持するために」

～口腔機能低下症の予防は、口腔機能発達不全症の解消にあり～

口腔機能検査機器はそろえて検査はしてみたもののその先の指導管理の方法はどうすれば良いのだろうか、小児は成長するので様子を見ているだけでよいのか、いつからどのように介入するのが適切なのか、とお悩みの先生は多いのではないのでしょうか。

高齢者と成長発育期の小児では一見かけ離れているように見えますが、成人の口腔機能低下は成長発育期の口腔機能不全と関連があるのではないかとのお見込みもあります。

本セミナーでは「口腔機能低下症」、「口腔機能発達不全症」と診断された方への具体的な指導方法や継続的に管理する方法を解説いたします。また、小児の口腔機能発達不全の原因や改善のための治療についても掘り下げていきます。

小児から高齢者まで一生お口から食べることを支えたい歯科医師、歯科衛生士必見のセミナーです。

講師：上田 貴之 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)  
井上 敬介 (愛知県開業)  
久保 慶太郎 (東京都勤務)



日時：6月4日(日) 10:00～17:00

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

Web参加 Zoomウェビナー

定員：60名

受講料：歯科医師 2万円 その他 1万円

講演内容：1) 口腔機能低下症の考え方  
2) 口腔機能発達不全症となる原因と対処方法  
3) 小児期の口腔機能はいつから診ていくのか  
4) 口腔機能低下症の検査方法と管理の実際  
ディスカッション

「生涯にわたり健康な口腔機能を獲得し維持するために」

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

口腔機能セミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 ( )	大学
ご氏名	( )	年卒
ご連絡先住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
	TEL	FAX
	必須 E-mail	
ご勤務先名		



上田 貴之 (うえだ たかゆき)

1999年	東京歯科大学卒業	2007年	長期海外出張(スイス連邦・ベルン大学歯学部補綴科客員教授)
2003年	東京歯科大学大学院歯学研究科修了	2010年	東京歯科大学・准教授
2003年	東京歯科大学・助手	2019年	東京歯科大学教授
2007年	東京歯科大学・講師		

口腔機能は、生まれた瞬間から亡くなるその時まで、常に使い続けられます。胎生期から幼少期では機能の獲得・成熟が行われ、その後は維持期を経て、高齢期には機能が低下していきます。それぞれの時期に、我々歯科医師・歯科衛生士は何かができるのでしょうか。発達不全や病的老化をどのように見つけ、対応するのがよいのでしょうか。ただ単に咀嚼筋の筋力があればよいということではありません。口腔機能を管理するアウトカムを見据えた対応、管理が望まれます。本セミナーでは、小児期と高齢期の口腔機能管理の共通点、相違点を考えることで、各ライフステージに応じた適切な管理の方針を考えます。その上で、具体的な口腔機能管理や栄養評価、食事指導の方法について解説したいと思います。(Takayuki Ueda)



井上 敬介 (いのうえ けいすけ)

1997年	東京歯科大学卒業 東京歯科大学大学院歯学研究科 (補綴第三講座)	2010年	医療法人真稜会   Dental Clinic 医療法人真稜会   Dental Clinic 理事長 日本小児口腔発達学会 (NPD) 理事長 (代表) 日本幼児脂質栄養学協会 (JALNI) 理事
2004年	東京歯科大学水道橋病院補綴科		
2007年	医療法人真稜会后藤歯科医院		

歯科分野において近年むし歯や歯周病またはそれに伴う歯牙欠損は減少傾向にあり、これから将来も減り続けるものとなるのは必然です。ではこれからの歯科界において歯科医師に求められる歯科治療とは何なのか？それは口を使って行う「食べる、しゃべる、息する、笑う」などの口腔の機能にフォーカスをする時代に突入しました。これからの歯科界を担う先生へ、本当の21世紀に必要な歯科医療とは何かを一緒に考えましょう。(Keisuke Inoue)



久保 慶太郎 (くぼ けいたろう)

2012年	日本歯科大学生命歯学部卒業
2017年	東京歯科大学大学院歯学研究科修了
2018年	久保歯科医院勤務

2018年に口腔機能低下症が公的医療保険収載されて以降、歯科医院における口腔機能低下症への取り組みに関して、どういう人に検査を行うのか、口腔機能検査の方法、口腔機能管理の具体的な指導方法がわかりにくいといった声を耳にします。本セミナーでは、診療所で口腔機能管理を行う上でのポイントを解説していきたいと思います。

今回のセミナーを通じて、より多くの方に口腔機能管理を行っていただきたいと思います。(Keitaro Kubo)



## 「すぐに役立つ臨床のコツ」

～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

臨床研修医や研修を終えて間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々診療に取り組んでいらっしゃると思います。その一方で臨床経験が短いゆえに手技に対する不安もあるのではないのでしょうか。

本セミナーは実践スキルの向上を目指し、支台歯形成、テンポラリークラウンの作製、歯肉縁下になった歯根の挺出法(MTM)さらに豚顎を用いた歯肉剥離(フラップ手術)と縫合、抜歯を分野ごとにブースに分け少人数のテーブルクリニック形式の実習を通して学びます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。

毎年大好評のセミナーです。明日からの臨床にすぐに役立つセミナーですのでぜひこの機会に受講しませんか。お待ちしております。

尚、ベーシックセミナーは同窓会学術委員による若手の先生への支援、応援を目的として開催しており、昨今の社会情勢を踏まえて本学同窓生および本学卒業後5年までの先生は受講料を割引させていただきます。

講師：学術委員(東京歯科大学同窓会)

日時：9月3日(日) 9:00～17:00

場所：東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

定員：60名

受講料：東京歯科大学同窓生(卒業後5年までの先生) 1万円(器材費7千円込み)

東京歯科大学同窓生(前年度同窓会費納入者) 2万円(器材費7千円込み)

その他 5万円(器材費7千円込み)

実習内容：補綴1 支台歯形成  
 補綴2 テンポラリークラウンの作製  
 ペリオ フラップ手術(切開、剥離、縫合)豚顎使用  
 口腔外科 抜歯・縫合 豚顎使用  
 矯正(MTM) エクストルージョン

\*本セミナーではテキストをWeb上からダウンロードしていただきます。  
 個人のE-mailアドレスの登録が必須となりますので必ずご記入ください。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

\*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。

(同窓会からの器材の貸し出しはございません。)

尚、実習内容は都合により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ベーシックハンズオンセミナー	
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先 住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください) 〒
TEL 必須 E-mail	FAX
ご勤務先名	

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。今後詳しい情報は逐次同窓会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご確認ください。

## 実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にさせていただきたいと思います。



**支台歯形成**  
効率よく  
支台歯形成できますか？



**テンポラリークラウンの作製**  
短時間で作製するコツ



**フラップ手術**  
切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？  
切開線の設定とデブライドメントのコツ  
豚顎骨実習



**抜歯・縫合**  
抜歯・縫合の基本を取り入れる  
豚顎骨実習



**MTM**  
エクストルージョン  
装置の実際、何に気を付ければいいのか？  
石膏模型実習



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。



## 「開業医が知っておきたいベーシックエンド」

～最新の歯髄保存からシンプルな外科処置まで～

臨床ではしばしば悩んでしまうエンド症例に遭遇することがあります。マイクロスコープが普及し、新しい材料が日々登場する昨今ですが、果たしてそれらを使用すれば多くの問題が解決できるのでしょうか。

このセミナーではエンドのみならず多岐にわたる分野で見識の深い阿部修先生から、歯髄を保存するため、根尖病変をつくらないため、そして難症例を解決するためにはなにが大切でどこに着目すべきかを解説し、材料の特性はもとより最新の歯髄保存治療からエンドの基本、そしてシンプルな外科的対応までを惜しみなく披露していただきます。これから活躍する若い先生から、経験豊富なベテランの先生まで学んでいただける講演です。

頭を抱えるエンド症例の解決の糸口がきっと見つかることでしょう。ぜひご参加下さい。

講師：阿部 修（東京都開業）

日時：10月1日（日）10：00～16：00

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

Web参加 Zoomウェビナー

定員：60名

受講料：2万円



- 講演内容：1) 歯髄診断と歯髄保存のための材料と術式  
2) 根管治療の鍵を握る基本事項  
3) 難症例への対応  
4) 外科的対応



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

歯内療法セミナー 参加方法 <input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加 チェックをお入れください	
ふりがな	出身校（大学）
ご氏名	（年卒）
ご連絡先 住所	自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）
TEL 必須 E-mail	FAX
ご勤務先名	



## 阿部 修 (あべ しゅう)

2000年 東京歯科大学卒業  
医療法人社団平和歯科医院勤務

2006年 東京歯科大学大学院(微生物学)修了(歯学博士)  
東京大学医科学研究所  
幹細胞組織工医学研究部門客員研究員  
(~2008年)  
医療法人社団平和歯科医院開業

### 所属団体

- ・日本歯内療法学会(国際交流委員)
- ・関東歯内療法学会(常任理事)
- ・東京歯科大学非常勤講師

### 主な著書

- ・「エンジンファイルON」 デンタルダイヤモンド社 2004年
- ・「Evidence & Technique NiTi ローターファイルを効果的に使う実践歯内療法」 医歯薬出版 2012年
- ・「マイクロスコープとNiTi ローターファイルによる GPのAdvanced Endodontics」 医歯薬出版 2014年
- ・「歯科臨床ビジュアルライズ(補綴篇)」 デンタルダイヤモンド社 2018年
- ・「歯科臨床ビジュアルライズ(保存・難症例篇)」 デンタルダイヤモンド社 2018年
- ・「マンガで学ぶ根管治療 成功と失敗の分岐点 イニシャルトリートメント編」 インターアクション 2022年

歯内療法は一般開業医にとって日常的な治療ですが、その手技は歯髓温存療法から外科的歯内療法まで実に幅広く、大変興味深い治療分野です。治療が速やかに成功すれば、辛い症状に苦しんできた患者さんは心から感謝の気持ちを示してくれます。しかし、ひとたび痛みが取れないなどの状態が続くと、患者さんも術者も大変苦しい思いをするのがまたこの歯内療法ではないのでしょうか。難症例とまではいかずとも治りにくい症例は決して少なくなく、その解決に苦慮することも多いと思います。懸命に治療を続けているのになかなか治らない、そのような症例にどう対応すればよいのでしょうか。もう一手、何かできることはないのでしょうか。

本講演では一般に治りにくいとされた症例を中心に、その原因の探索と対応について考えたいと思います。自らの治療で解決できる歯内療法の幅が少し広がるきっかけになれば幸いです。

(Shu Abe)



## 「健康格差と口腔保健の役割」 ～今、日本社会の中で何がおきているのか～

我が国は世界最長寿国となり、健康寿命の延伸が課題となっています。その中での口腔保健の役割、すなわち口腔健康の維持が全身の健康に及ぼす影響は非常に大きいものです。一方で、健康格差の拡大が問題となっています。

SDGsの17ある目標の1つに「すべての人に健康と福祉を」が掲げられており、その中核をなすのが、ユニバーサルヘルスカバレッジ (UHC) です。日本においては、国民皆保険制度によりUHCがすでに達成されたと認識されているにも関わらず、健康格差が問題となっているのはどうしてなのでしょう。

そこで今回は、国内で、なぜ、健康格差が拡大してしまっているのか、そして、口腔保健における健康格差についても理解し、口腔保健が抱える課題について参加者とともに考えるフォーラムとなっております。

講師：近藤 克則  
(千葉大学 予防医学センター)

相田 潤  
(東京医科歯科大学 健康推進歯科分野)



日時：11月12日(日)9:30～12:30

場所：ハイブリッド開催

対面参加 東京歯科大学水道橋校舎 新館11階

Web参加 Zoomウェビナー

定員：60名

受講料：無料

講演内容：1) 国内における健康格差と社会的決定要因  
2) 健康格差と口腔保健



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム 参加方法		<input type="checkbox"/> 対面参加・ <input type="checkbox"/> Web参加		チェックをお入れください
ふりがな	出身校 (			大学)
ご氏名	(			年卒)
ご連絡先住所	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)			
	TEL	FAX		
	必須 E-mail			
ご勤務先名				



**近藤 克則** (こんどう かつのり)

1983年	千葉大学医学部卒業 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部医員	2014年	千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授
1997年	日本福祉大学助教授	2016年	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長 (併任)
2000年～2001年	University of Kent at Canterbury (イギリス) 客員研究員 日本福祉大学教授	2018年	一般社団法人日本老年学的評価研究機構 代表理事 (併任)

**受賞歴**

- ・「健康格差縮小を目指した社会疫学研究」で2020年度「日本医師会医学賞」受賞
- ・「健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか」(医学書院, 2005)で社会政策学会賞(奨励賞)受賞

**主な近著**

- ・「健康格差社会への処方箋」 医学書院 2017
- ・「研究の育て方」 医学書院 2018
- ・「長生きできる町」 角川新書 2018
- ・「健康格差社会 第2版 何が心と健康を蝕むのか」 医学書院 2022

**「日本の健康格差と社会的決定要因」**

日本における健康格差の現状とそれをもたらすメカニズム、そして対策について、どこまで明らかになってきているのかを紹介する。

健康格差とは「地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差」で、日本にも指標によって5倍もの健康格差がある。対策を強めるべきとするWHO総会決議(2009)があげられ、厚生労働省「健康日本21(第2次)」の基本的な方向に「健康格差の縮小」が加えられた。生成メカニズムに、出生前後からのライフコース、慢性ストレス、参加しやすく支え合いが盛んな社会か否かなど、多くの「健康の社会的決定要因」があることが明らかにされてきた。

それらを変える健康格差の縮小策が試みられ、その効果評価がなされ、有望な対策が見えはじめている。

(Katsunori Kondo)



**相田 潤** (あいだ じゅん)

2003年	北海道大学歯学部卒業	2014年～2020年	東北大学大学院歯学研究科 臨床疫学統計支援室室長
2004年	国立保健医療科学院専門課程修了	2020年～2021年	東北大学大学院歯学研究科歯学 イノベーションリエゾンセンター 地域展開部門教授(クロスアポイントメント)
2007年	北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了	2020年	東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 健康推進歯学分野教授
2007年～2011年	東北大学大学院歯学研究科助教		
2010年～2011年	University College London 客員研究員		
2011年～2020年	東北大学大学院歯学研究科准教授		
2012年～2018年	宮城県保健福祉部 参与 (歯科医療保健政策担当) 兼務		

**受賞歴**

- ・2018年 日本口腔衛生学会 Lion award
- ・2018年 日本口腔衛生学会 論文奨励賞
- ・2018年 2017年度日本疫学会奨励賞

**主な近著**

- ・「Global Neglect of Dental Coverage in Universal Health Coverage Systems and Japan's Broad Coverage」 Int Dent J 2021
- ・「WHO第74回世界保健総会は日本の歯科界の大きなチャンス」 東京都歯科医師会雑誌 2021

**「健康格差と口腔保健」**

2021年の世界保健機関(WHO)第74回世界保健総会において、口腔保健に関する決議が承認された。国際歯科連盟やアメリカ歯科医師会はこれを「歴史的な決議」と報道し重要性をアピールしている。

決議が出された理由は、過去10年ほどにわたり、口腔保健の重要性が様々な角度やデータから広く認識されたためである。この重要性のひとつとして、歯科疾患の有病率が極めて高いことが挙げられる。そしてこの有病率の高さも深刻な問題となる「健康格差」についても決議には明記されている。

口腔の健康格差は過去約10年に渡り、研究の最先端トピックのひとつでもあった。日本にも大きな口腔の健康格差が存在するが、しかし日本の歯科界における認識は必ずしも高くなく、日本のデータが海外に知れる機会を逃した面も否定し難い。本講演がこうした部分の巻き返しの一助にもなれば幸いである。

(Jun Aida)

**卒後研修** ……………臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

**臨床セミナー** ……………すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

**医療教養** ……………若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

## 卒後研修

TDC卒後研修倶楽部	奇数月第4木曜日	20:00～
卒研症例検討会	偶数月第4木曜日	20:00～
デンタルスタッフミーティング	第3水曜日	20:00～

## 臨床セミナー

6月4日(日) **口腔機能セミナー**  
「健全な口腔機能を獲得し維持するために」  
～口腔機能低下症の予防は、口腔機能発達不全症の解消にあり～  
講師：上田 貴之 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)  
井上 敬介 (愛知県開業)  
久保 慶太郎 (東京都勤務)

9月3日(日) **ベーシックハンズオンセミナー**  
「すぐに役立つ臨床のコツ」  
～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～  
講師：学術委員 (東京歯科大学同窓会)

10月1日(日) **歯内療法セミナー**  
「開業医が知っておきたいベーシックエンド」  
～最新の歯髄保存からシンプルな外科処置まで～  
講師：阿部 修 (東京都開業)

## 医療教養

11月12日(日) **医療教養フォーラム**  
「健康格差と口腔保健の役割」  
～今、日本社会の中でなにごおきているのか～  
講師：近藤 克則 (千葉大学 予防医学センター)  
相田 潤 (東京医科歯科大学 健康推進歯科分野)



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じてセミナーを開催する予定ですが状況によりセミナーの内容を一部変更する事がございます。予めご了承ください。

## 会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎新館
- 東京歯科大学水道橋校舎別棟7階  
JR『水道橋駅』東口下車（御茶ノ水寄り出口）



## 受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)

<http://www.tdc-alumni.jp>

## 必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
  - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
  - ③Eメールアドレス
  - ④職種 歯科医師 (出身大学・卒業年度)、臨床研修医 (出身大学)  
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- \*もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

## 申し込み時の注意事項について

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙 (郵便局用) をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。  
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。  
(ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。)
- ・但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

\*東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。



セミナーお申し込みはこちらから

## 東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18  
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859  
URL <http://www.tdc-alumni.jp>



